

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフ牧の里スポーツパーク		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 9月 5日		令和6年 9月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所のスタッフは、元体育の先生やスポーツ経験豊富なスタッフが在籍しており、専門的な知識と経験を活かして、子どもたちが楽しく身体を動かせるプログラムを提供できること	・色々なプログラム(スポーツ)を取り入れていること ・個別プログラムではマンツーマンの指導を受けることができること ・プログラム(スポーツを)通じて礼儀やマナー指導、教育している。	新しいプログラムの導入も検討していきたい。
2	当事業所は、支援開始前にスタッフ間で必ず打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認してチームで連携して支援を行っていること	・子どもたちの支援について情報共有を行い、支援内容を決めていくこと ・支援のタイムスケジュールができていますので、円滑に活動ができています	引き続きスタッフ同士で振り返りを行い、当日の良かった点や改善点を共有して次の支援に活かせるようにしていきたい。
3	当事業所は、日頃から子どもたちの状況や様子を保護者と共有し、発達状況や課題について共通理解を持っていること	・帰りの送迎時やお迎えの時に保護者様に、活動の様子を直接伝えることができています ・連絡帳でのその日の活動内容や最近の家での困りごとや様子の共有ができています	活動中の写真や動画を活用し、成長や努力している場面を視覚的に伝え、子どもたちの様子が分かるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所は、父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による、保護者同士の交流の機会が設けられていないこと	・日時を調整するのが難しい ・保護者様の興味があり、参加したくなる企画を考えることが難しい	・年間で一度は開催できるように検討する。 ・保護者様にアンケートや簡単なヒアリングを通じて、具体的なニーズを募る。
2	当事業所の、活動場所の空間が狭くないこと	・トランポリンがスペースを取るため、待機している子どもたちが十分に活動できていないこと ・サッカーのプログラムで雨天時だと全員で活動を行うことが難しい	・トランポリン施設の使用を検討 ・雨天時でも活動できる場所を検討
3	当事業所は、放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもたちと活動する機会が少ないこと	・年に数回開催しているが特定の曜日のみでの開催しかできていない ・規模が大きくなるので、企画することが難しい	・別のプログラムでも関われ企画を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ牧の里スポーツパーク

公表日 2024年11月18日

利用児童数 38

回収数

25

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		2		国の規定に基づいて職員を配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3			3	バリアフリー化がどこまでか？がわからない。特性も全てにおいてはむずかしいかも。	利用者様がより快適になるように、これからも努力してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1			1	個人スイミングのみ利用です。	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境を維持するため、毎日清掃を行っております。また、子どもたちの活動に合わせて、環境整備を行ってまいります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				1	理学療法士、作業療法士さんの支援(お話)が聞けたらうれしいです。	現在、当事業所には理学療法士や作業療法士は在籍しておりません。
	6 事業所は、事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1			2		利用者様や、保護者様のニーズに寄り添い、支援内容を設定させていただいております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2			2		活動プログラムが固定化されないよう利用希望表を作成しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	6		7		他事業所との合同イベントを通して、地域の子ども達と活動できる機会を設けています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				1		引き続き丁寧な説明を心がけてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	11	3		2	活動があると良いのですが、情報発信だけでも助かります。	今後、家族で参加できるプログラムを企画し、家族の皆様が共に参加できる場を提供してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	25						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2					引き続き、共感的な支援をしてまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	7		6		父母の会や保護者会等で、交流の機会が得られるようなイベントを開催してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3		2		これからも、本人や保護者様からの相談や申し入れに対応する体制を設備をし、柔軟に対応ができるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24			1		引き続きInstagramやGoogle等のSNSを通して、イベント活動やプログラムの様子を発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1		これからも個人情報の取り扱いについて、十分に留意し、適切な管理と保護に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		8	防災訓練はなかなか機会がありません。あった方がいいとは思いますが。	BCPのマニュアルを基に訓練しております。訓練日を固定曜日にならないようにバランスよく実施致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		10	プールで訓練はあるのでしょうか。年に一回は経験が必要かも。	避難訓練を月に一度行っております。SNS等にて訓練の様子、内容を記載しておりますので、是非ご覧下さい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		5		安全の確保が行われるように、今後も引き続き安全計画をスタッフ間で周知してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	4		2		帰りの送迎時に保護者様にケガの様子や状況などを説明しております。事故やヒヤリハット報告書などの記載も行い、再発防止・抑止に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			時々、お友達が話しかけてくるのがしつこいことがあったり、手を出されるのを心配していることがあります。	スタッフの配置やサポート体制を整え、友達との交流を通じて、利用者様が安心して楽しく通っていたけるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	3				これまで以上に子どもたちを楽しみながら、通っていただけるよう、イベントやプログラムの内容に工夫を凝らしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ワンライフ牧の里スポーツパーク				公表日	2024年 11月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		雨の日の活動は体育館を利用して活動ができている。	活動内容によっては、より広いスペースがあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8			利用者の人数によって調整していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			駐車場が傾斜の為、少し危ない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日掃除ができています。	トイレが男女別で使用できるとがよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		くずれてしまう時は和室で落ち着ける場所がある。	個別のスペースが確保できると良い。(気持ちを落ち着かせる時など)
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		全員のスタッフができるといい。
	7	当事業所は、保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			機会が少なかったので、今後は実施していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・別のプログラムでも関われ企画を検討する	新しく入社したスタッフにも今後は伝えていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		新しく入社したスタッフにも今後は伝えていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		新しく入社したスタッフにも今後は伝えていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・曜日ごとに分かれているプログラムの中でも、同じ活動がないように工夫している。	他のプログラムも検討する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		次の日に回ってしまうことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	3		・決められたプログラムを行っているので、自己決定する事ができていない。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		あまりそういう機会がない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有がなされていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		関係機関との連携を強化する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		地域の児童発達支援センターとの連携を強化する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	年に1回サッカーチームとキャンプをしている。	他事業所と合同イベントを企画を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	部会に参加している。	他のスタッフにも参加する機会をつくる。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に伝える事ができている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		年に一度でも簡単なものから企画していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1		新しく入社したスタッフにも今後は伝えていく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6	・年に1回くらい開催している。	保護者様にアンケートや簡単なヒアリングを通じて、具体的なニーズを募る。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域住民を招集するなどの取り組みはできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		今後はSNS等でも発信していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				